

2014年10月8日

様

## 市議会議員選挙についての公開質問状

市庁舎新築移転を問う市民の会

会長 八村 輝夫

11月に実施される鳥取市議会議員選挙にあたって、貴方が立候補の意思をお持ちであると伺っています。

約4年前、竹内前市長が突如「市庁舎新築移転」の方針を打ち出されて以来、その是非を巡って鳥取市を二分する激しい論争がおこなわれてきたことはすでにご承知の通りです。

私たちは、住民投票を要求して立ち上がった多くの市民とともに、市長及び行政当局の態度と市議会の動向を注視しつつ、重要な時期には私たちの主張を訴え続けてきました。

そして10月6日の9月議会最終日には、「市庁舎新築移転」に必要な「位置条例案」（出席議員数の2/3が必要）が否決されました。

4年間、議会で議論を続けてきた結果、一定の結論が出された今、市長はこの結論を真摯に受け止め、自らの責任において市民に方向を指し示すことが重要と私たちは考えています。

しかし、一方で、11月に行われる市議会議員選挙を待つ、改めて検討がなされる可能性もないとは言えません。多くの市民は、市議会議員選挙の結果が市庁舎問題の帰趨を左右するのではないかと考え、立候補者の意思を注視しております。

もとより、市議会議員の役割は市庁舎の整備に限定されるものではないことはよくわかっております。しかし、市庁舎整備に対する考え方は、単に「新築移転か耐震改修か」の問題にとどまらず、市の財政運営をどのような立場に立って進めるべきか、市政を民主的に進めるにはどのように考えるべきか、等を象徴的に集約した選択肢であると考えています。

したがって、市民が市議会議員を選ぶための判断の基準をわかりやすくするため、下記の設問にご回答下さい。尚、ご回答の結果については、市議会議員選挙の投票にあたって、市民の公正な判断に資するため、公表させていただくことを申し添えます。

ご多忙のこととは存じますが、別紙用紙にご記入の上、10月16日（木）までに同封の返信用封筒にてご返送をお願いいたします。

### 記

設問 市庁舎整備について、下記の選択肢のいずれをお選びになりますか。

- ① 市庁舎新築移転を支持する。
- ② 市庁舎新築移転を支持しない。
- ③ どちらとも言えない。

以上